

# 第12回 歴史地震史料研究会

2024年11月10日(日) 12:55~17:10 オンライン開催

## ◆研究発表会プログラム◆

### 13:00~14:00 口頭発表セッション1 (能登半島地震関連)

西山昭仁・石辺岳男・片桐昭彦 1802年享和佐渡小木地震の有感記録の検討

堀 健彦・片桐昭彦 近世期における新潟市西区を描いた絵図と

2024年能登半島地震による被害

矢田俊文 新潟県西蒲原郡の地図と渦—20世紀初頭—

### 14:15~15:35 口頭発表セッション2

北村 繁・村野正景 火山ガラスのWDS分析からみた土器製作への火山灰利用

～中米・エルサルバドル、チャルチュアパ地域のウスルタン様式土器の分析事例～

齋藤瑞穂・鈴木正博 弥生三陸地震津波研究—弥生時代中期中葉以前の環境変動—

松岡祐也 15・6世紀における京都の地震と祈禱

片桐昭彦 年代記の地震記事と出典

### 15:50~17:10 口頭発表セッション3

原田和彦 江戸時代における北信濃の地震活動

杉森玲子 1769年明和日向灘地震における高鍋城の被害

原 直史 1828文政11年複合災害の情報伝播—越後国を中心に—

原田智也・西山昭仁・石辺岳男

フィリピン海スラブ内の地震の可能性が高い万延二年(1861年)西尾地震

事前申込制によるZoom(ウェブ会議システム)を用いたオンライン方式で行います

参加申込: メ切 11月6日(水)、下記URLまたはQRコードからお申し込み下さい

<https://forms.gle/6Beerwwl9WFm6pLp7>

問い合わせ先

片桐昭彦(新潟大学人文学部, 災害・復興科学研究所兼任)

E-mail: katagiri@human.niigata-u.ac.jp

